

A. 主な動き

1. 内政

大統領選出に向けた動き

・7日、ルプ大統領代行兼議会議長は、大統領選挙実施日を16日とすることを議会に提案し、同提案は議会議員62名(与党連合A EI議員58名及び無所属議員4名)の賛成で承認された。同日、議会において大統領選挙実施に関する特別委員会が設立され、デディウ同委員長は、同委員会は大統領選挙への候補者登録を12日まで受け付けることを決定した旨発言。

・7日、ルプ大統領代行兼議会議長(民主党党首)は、大統領候補者名は現時点では公表できないものの、12日からの週の初めには明らかになる旨発言。同日、フィラト首相(自由民主党党首)は、選挙実施日が決定したことはとても重要であり、16日に大統領が選出されるよう全力を挙げる旨、大統領候補者とはすでに会って話している旨発言。また、ギンブ自由民主党党首は、A EIは大統領候補者に関し、すでに妥協点に到達した旨発言。

・9日、ヴォローニン共産党党首は、同党は16日の大統領選挙は認められないとして、同選挙へ同党は参加しない旨発言。

その他

・6日、議会は、与党連合A EIの賛成により、レシェニコフ副議長(共産党所属議員)を罷免。

2. 経済

マクロ経済

・6日、フィラト首相とシューベル駐モルドバEU代表部大使は、欧州委員会からモルドバへの1,400万ユーロの財政支援に関する協定に調印。フィラト首相は、本支援はDCFTA創設を含むEU・モルドバ連合協定交渉の体制強化が目的である旨発言。また、シューベル大使は、モルドバの大統領選出問題はEU・モルドバ関係に影響しない旨発言。

3. 外交

モルドバ・ルーマニア政府間会議

・3日、ルーマニアのヤシにおいて第1回モルドバ・ルーマニア政府間会議が開催され、モルドバからフィラト首相他閣

僚、ルーマニアからウングレアヌ首相他閣僚が出席し、モルドバの欧州統合等に関し協議。両者は、ウンゲーニ(モルドバ)～ヤシ間ガス輸送パイプライン建設工事を2012年末までに完了することで合意。フィラト首相は、本輸送システム開通によるモルドバのエネルギー安全保障強化及び天然ガス供給源の多様化の重要性を強調。また、両首相は、モルドバ・ルーマニア戦略的パートナーシップに関する行動計画、自然災害の際の相互協力、社会保障、地域開発及び若者とスポーツ分野等の合意文書に署名。

レアンカ副首相兼外務・欧州統合相のオーストリア訪問

・6日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、オーストリアを訪問し、シュピンドルエッガー・オーストリア副首相兼外相と会談し、両国協力関係及び沿ドニエストル問題等につき協議。レアンカ副首相は、モルドバの欧州統合に対するオーストリアの支持に謝意を表明。

ロウ世界銀行副総裁の来訪

・7日、フィラト首相は、モルドバを訪問中のロウ世界銀行欧州・中央アジア担当副総裁と会談し、モルドバと世界銀行の関係発展につき確認。世界銀行のモルドバに対する進行中の支援は、教育、社会保障、農業投資、エネルギー、道路建設及び政府の改革等の11分野で、総額2億8,100万米ドル。

その他

・5日、ルプ大統領代行兼議会議長、フィラト首相及びヴォローニン共産党党首は、それぞれ露大統領選挙におけるプーチン氏の勝利に対し祝意を表明。

・9日、フィラト首相は、モルドバ訪問中のクラス・NATO元事務総長(ベルギー元国務大臣)及びベーケ駐モルドバ・ベルギー大使と会談し、モルドバ・ベルギー二国間関係の強化及びモルドバの欧州統合等に関し意見交換。

4. 沿ドニエストル

・4日、シェフチューク「大統領」は、露大統領選挙に参加し、ルィブニツァ市内投票所において投票。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)